

令和 4 年

加茂市教育委員会 7 月定例会会議録

令和 4 年 7 月 1 日 開会

令和 4 年 7 月 1 日 閉会

加茂市教育委員会

令和4年加茂市教育委員会7月定例会会議録

令和4年7月1日加茂市役所5階第1委員会室において、令和4年加茂市教育委員会7月定例会を開催した。会議の概要は、次のとおりであった。

1 会議に付した事件

- (1) 会議録署名委員の指名
- (2) 会期の決定
- (3) 報告
- (4) 第32号議案 加茂文化会館条例施行規則の一部改正について
- (5) 第33号議案 奨学資金貸付資格者の決定について（秘密会）
- (6) 次期教育委員会期日の決定

2 出席委員（5名）

教育長 山川雅己君 1番 乙川智子君 2番 田邊俊樹君
3番 藤田和子君 4番 太田正純君

3 欠席委員（0名）

4 説明のため出席した者（12名）

庶務課長兼文化会館長 草野智文君
学校教育課長 阿部一晴君
社会教育課長民俗資料館長 有本幸雄君
スポーツ振興課長勤労青少年ホーム館長 五十嵐卓君
庶務課課長補佐庶務係長 長澤敦君
学校教育課課長補佐学事係長 糸山広美君
社会教育課課長補佐社会教育係長 中澤資裕君
社会教育課課長補佐社会教育係長 伊藤秀和君
社会教育課課長補佐公民館長 波塚一朗君
社会教育課課長補佐図書館長 細貝秀樹君
スポーツ振興課課長補佐兼温水プール館長兼温水プール管理係長 和田正利君
文化会館次長業務係長兼業務係長 橋本尚君

5 会議の概要

午後1時30分 開会

〔開会の宣言〕

○教育長(山川雅己君) 令和4年加茂市教育委員会7月定例会の開会を宣言する。

〔会議録署名委員の指名〕

- 教育長（山川雅巳君） 1番 田邊俊樹君を指名する。

〔会期の決定〕

- 教育長（山川雅巳君） 会期は本日1日に決定する。

〔報告〕

- 社会教育課長民俗資料館長（有本幸雄君） 「令和4年度第1回市展運営委員会について」を報告する。

令和4年6月3日(金) (10:00~12:30)に令和4年度第1回市展運営委員会を開催した。会議では、委員長に泉田委員、副委員長に外石委員が選出され、主な議事は「今年度の市展開催スケジュールについて」、「開場式・表彰式・祝賀パーティー等について」等であった。

委員より「作品が少ないため、高校や大学等へ更に働きかけるべき」、「ブロンズ盾を廃止して賞金を贈呈すべき」等の意見をいただき、意見を取り入れながらより良い市展を開催していきたいと考えている。

- 委員（田邊俊樹君） 市展の出展数が少なくなっているようだが、ジュニア展では小中学生の作品は多く集まっているか。
- 社会教育課長民俗資料館長（有本幸雄君） 総数では大差ないが、学校によって差がある。事務局としては、例年、児童生徒数に応じて各学校に出展数をお願いしていたが、依頼数に届かない学校もあれば、依頼数よりも多く出展したいという学校もある。今年度は事前にアンケートを実施し、おおよその出展数を把握したうえで、児童生徒の作品をすべて出展する予定である。
- 委員（田邊俊樹君） 「教育の充実」という観点から、出展を高校や大学へ事務局職員が直接学校に出向いて依頼するなど、積極的に働きかけてもらいたい。
初心者教室用の予算がついたとのことであるが、子どもでも参加できるのか。
- 社会教育課長民俗資料館長（有本幸雄君） 年齢は問わない。
- 委員（田邊俊樹君） 多くの市民、子ども、保護者に周知して、市展やジュニア展を少しでも充実したものにしてもらいたい。
- 社会教育課長民俗資料館長（有本幸雄君） 7月21日(木)に臨時市展運営委員会を開催する予定であり、学校への働きかけについてなどを含めて、更に話し合いたい。
- 委員（太田正純君） 「祝賀パーティー」はこれまで会費制で開催していたのか。
- 社会教育課長民俗資料館長（有本幸雄君） 参加者は、その年の受賞者、市長、市展運営委員会委員、教育委員会事務局職員、無鑑査の方々であり、うち、その年の受賞者を招待としての扱いとし、他の参加者は相応の参加費をいただいている。

- 委員（太田正純君） ブロンズ盾をやめて賞金を出すことにしたとのことであるが、ブロンズ盾が欲しい方がいれば貰えるのか。
- 社会教育課長民俗資料館長（有本幸雄君） これまでは表彰状とブロンズ盾を贈呈していたが、今年度からは表彰状と賞金に一本化することにした。
- 委員（太田正純君） 形として残るもの（表彰状）があれば、それで良いのではないかと思う。
- 社会教育課課長補佐図書館長（細貝秀樹君） 「令和4年度第1回図書館協議会について」を報告する。
 令和4年6月15日(水) (13:30~14:30) に令和4年度第1回図書館協議会を開催した。主な議事は「令和3年度利用状況及び事業報告について」、「令和4年度事業計画及び予算について」等であり、全て承認を得た。
- 庶務課長兼文化会館長（草野智文君） 「第6回加茂市立小中学校適正規模等検討委員会について」を報告する。これまでの会議、視察等を踏まえ、今回は「10年後の加茂市の教育環境・学校施設は？」というテーマでグループワークを行い、「他分野との連携・交流」、「安心安全で機能的な学校施設」、「人づくりと地域活性化」、「部活動等を通じた生徒が活躍できる場の保障」、「地域の資源を活用した学び方の工夫」などがキーワードとして挙げられた。なお、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から視察を控えていた湯沢町立湯沢学園より、夏季休業中の視察許可を得ることができたため、事務局が日程調整を行い、委員に案内する予定である。
- 委員（太田正純君） これまで、検討委員会のなかでグループワークを行ったことがあるのか。今回のグループワークは、グループ内での役割や進行の仕方について段取りを良くしておけば、もっとスムーズに進行できたのではないか。
- 庶務課長兼文化会館長（草野智文君） グループワークは初めての試みである。これまでは現状、課題、他市町村の取組等を事務局が説明し、委員は知識を深めていくことが多かったため、活発な議論の機会が少なかった。今回は少人数のグループで各々が意見を出し合える環境をつくることを第一に考えて行ったもの。各グループには司会役、意見の引き出し役として検討委員会委員の校長を配置したり、事務局職員がフォローできるような体制を整えたつもりであるが、事前準備に不足があったかもしれないため、次回の検討委員会に生かしていきたい。
- 委員（乙川智子君） これまで我々教育委員はオブザーバー参加という立場であったが、今回はグループワークに参加することになった。立場が曖昧であり、意見を述べた良いのか否かがはっきりしなかった。ただし、全体では活発な意見交換ができていた印象。できることであれば、もう一回位グループワークを行い、議論を深めたうえで答申案作成に取り掛かっても良いのではないか。
- 庶務課長兼文化会館長（草野智文君） 事務局では、これまでオブザーバーとして参加いただいた教育委員の方々にも、グループワークで意見をいただこうと考え、今回は参加していただいた。
- 教育長（山川雅巳君） 教育委員の皆様には事前に相談しておけば良かったと思

う。更なる話し合いの場の必要性については検討したい。今後も教育委員の皆様にはぜひ出席していただき、意見をいただきたい。

- 委員（藤田和子君） この先はオブザーバー参加で良いのか。
- 教育長（山川雅巳君） 現在、8月5日(金)に加茂市総合教育会議（市長との意見交換）を開催する予定であり、まずは、そこで意見をいただきながら進めていければと考えている。
- 委員（田邊俊樹君） 検討委員会は諮問機関であり、独立性の観点からも、教育委員はあくまでもオブザーバーとしての立場にいるべきだと思う。
- 委員（太田正純君） 今後も検討委員会でグループワークを行うのであれば、やり方を研究し、議論が深まるようにした方が良いと思う。
- 教育長（山川雅巳君） 時間に制限があるなかで、検討委員会委員の意見をうまく引き出し、集約するのはなかなか難しい。今後の方向性、検討委員会の進め方を持ち帰って検討したい。
- 委員（藤田和子君） 私は、今回の検討委員会は、委員から多くの意見が出ており、良い会議であったと感じている。
- 学校教育課長（阿部一晴君） 「教員の夏季休業期間における早出遅出勤務の試行について」を報告する。
 小中学校教職員のワーク・ライフ・バランス実現に向けた取り組みの一つとして、勤務時間を30分前倒しする「早出勤務」と30分後ろ倒しにする「遅出勤務」を夏季休業中に試行する。夏季休業中の部活動を涼しい朝の早い時間帯から始め、早めに終わることができるメリットもある。県からも推進要請があり、県内の多くの市町村でも夏季休業中に実施しているところであり、他市町村並みに加茂市でも実施したいというもの。
- 委員（乙川智子君） とても良いことだと思う。夏季休業中は児童生徒の登下校の機会が少ないため、積極的に取り組んでもらいたい。一般企業では当たり前になっていることが多い。いわゆるテレワークでも会社が回っていたなかで、学校が対応していない状況であった。加茂市で子どもを育てたいという保護者が増えて欲しいと思うことと同時に、加茂市の学校に勤務したいという教職員が増えて欲しいと思っている。今後も勤務しやすくなるような体制を築いて欲しい。
- 委員（太田正純君） 加茂市では「5日以上連続（休業日を挟む場合も可）する期間、同じ時間帯で勤務すること」としているが、他の市町村での扱いを教えて欲しい。
- 学校教育課長（阿部一晴君） 多くの市町村でも同様に扱っている。県や大きな市では自由にしているようである。これは、自己管理は教職員自身が出来て当たり前であることを前提としているものだと思う。加茂市では今年度から試行するにあたり、まずは「原則5日以上連続」とし、実施後に検証等を行いたい。
- 委員（太田正純君） いわゆる教職員の承認研修制度は現在もあるのか。
- 学校教育課長（阿部一晴君） 今もあるが、校長に厳密な計画書を提出し、認め

られなければならない、終了後は細かな報告書も提出しなければならない。一年を通じて教職員の年次有給休暇の取得率が低いことが多いため、夏季休業中には大いに年次有給休暇を取得し、リフレッシュしてもらいたいと指導しているところである。

- 委員（田邊俊樹君） 今回は試行的な取り組みであるとのことだが、今後はどのように実施していくのか。
- 学校教育課長（阿部一晴君） 夏季休業終了後、現場の教職員の声も吸い上げたうえで、校長会で試行中の様子を聴取、検証を行い、次の冬季休業にも実施することを前提とし、より良い方法を検討していきたい。なお、前倒し時間と後ろ倒し時間をそれぞれ60分にすることも検討したが、早出勤務と遅出勤務の教職員数に著しい偏りが生じると、現場の業務に支障が生じる可能性があるため、まずは30分として試行したい。
- 庶務課長兼文化会館長（草野智文君） 「令和4年加茂市議会6月定例会について」を報告する。

「加茂文化会館条例の一部改正について」は指定管理制度の導入を主旨とした条例改正である。

「令和4年度加茂市一般会計補正予算（第4号）」は、スクールサポートスタッフの増員に伴う報酬費、教育支援センターの機能充実を目的とした運営費、ALT補助事務員を新たに雇用するための報酬費、加茂市史通史編上巻印刷製本費の増額を含む補正予算について議決をいただいたもの。

「令和4年度加茂市一般会計補正予算書（第5号）」は、放課後児童クラブにWi-Fi環境を導入する整備費、学校給食運営費への補助金（小学校で一食あたり30円、中学校で35円）を含む補正予算について議決をいただいたもの。

「一般質問に対する答弁」は、「食材の物価高騰と学校給食」について、極力保護者負担を軽減できるよう学校給食運営費に補助金を支出する補正予算を上程したことを主旨とした答弁。「平和祈願と国際交流」について、平和教育は、これまでも通常の教育課程の中で社会科等を通じ、継続的に行われていることを主旨とした答弁。「部活動の地域移行」について、令和5年度から3年をかけて休日の地域移行等を検討することを主旨とした答弁。「ブラック校則廃止」について、生徒の声を拾い、生徒総会の審議を経て規定を変更した学校があったことから、生活に合わせて校則を見直す余地はあることを主旨とした答弁。「学校施設のZEB化」について、大規模改修と併せて段階的に推進することが有効であり、補助事業や起債の活用を考慮しながら進めて行くことを主旨とした答弁であった。

- 委員（乙川智子君） 「一般質問に対する答弁」で気になったことがあった。まず、「学校給食での突き抜けた政策を」という質問もあり、他の市町村にはない政策を打ち出していくことは大事なことだと思うため、今後検討して欲しい。次に「ウクライナからの避難民の受け入れ」について、住居の用意が必要であり、市営住宅の場合は市民の方も入居できずお待ちいただいているとのことであるが、市営住宅の現状を教えて欲しい。

- 庶務課課長補佐庶務係長（長澤敦君） 空いている市営住宅もあるかもしれないが、お年寄りが市営住宅への居住を希望する場合、1階や2階の部屋を希望することが多いことから、長期間の順番待ちが生じていると聞いている。一方で、木造平屋の住宅の一部（桜沢市営住宅等）は老朽化等の問題があり、入居の募集を行っていないとのこと。
- 委員（乙川智子君） 市営住宅に限らず、空いている住宅を活用するなど、避難民だけではなく加茂市に住みたい方のためにマッチングできるようなシステムが生まれると良いと考えている。次に「ロシアのコムソモリスク市との交流」について、ロシアとウクライナの情勢もあるが、それは国と国との問題であり、我々はそれを避けるのではなく、市民レベルで交流、理解ができれば子どもたちにとって意味があるものではないかと思う。インターネットを活用するなど、市民レベルで交流を再開、継続することで、様々な考え方を理解、受け入れることができ、国際平和に貢献する人材を育成できる機会となるかもしれないので、コムソモリスク市との交流を有効なものにできれば良いと思う。次に「ブラック校則」に関して、子どもの頃から多様性を受け入れ、理解できる教育に触れることが重要で、加茂市全体にそういった考え方が広がっていけば「笑顔あふれるまち 加茂」に繋がっていくのではないかと思う。
- 教育長（山川雅己君） コムソモリスク市との関係を完全に絶ったものではなく、今後も継続して担当者レベルでは連絡を取り合うようにしていきたい。
- 学校教育課長（阿部一晴君） 「令和4年度中越地区中学校総合体育大会の結果について」を報告する。

6月に行われた中越大会では、多くの生徒が活躍し、県大会への出場を得ることができた。

〔秘密会の決定〕

- 教育長（山川雅己君） 「第33号議案 奨学資金貸付資格者の決定について」を秘密会とするか諮る。
- 教育長（山川雅己君） 異議がないので秘密会にすることに決定する。

〔議案審議〕

- 教育長（山川雅己君） 「第32号議案 加茂文化会館条例施行規則の一部改正について」を上程する。
- 教育長（山川雅己君） 質問等ございませんか。

—異議なし—
- 教育長（山川雅己君） 「第32号議案 加茂文化会館条例施行規則の一部改正について」は議案どおり決定する。

〔次期定例教育委員会期日の決定について〕

- 庶務課長兼文化会館長（草野智文君） （別紙 行事予定により）説明。

—異議なし—

○教育長（山川雅己君） 8月定例教育委員会は8月5日(金)午後1時30分からに決定する。

〔その他〕

○教育長（山川雅己君） 全体を通して何かございませんか。

〔閉会の宣言〕

○教育長（山川雅己君） 令和4年加茂市教育委員会7月定例会の閉会を宣言する。

午後3時10分 閉会

会議録作成者

庶務課課長補佐 長 澤 敦

この会議録が正当であることを証し、新潟県加茂市教育委員会会議規則（昭和63年教育委員会規則第5号）第32条第3項の規定により署名する。

加茂市教育委員会教育長

山川雅己

加茂市教育委員会委員

田邊 俊 樹